

研究成果展開事業 研究成果最適展開支援プログラム

シーズ育成タイプ 事後評価結果

体系的課題番号	：	JPMJTR194A
採択年度	：	2019年度
分野	：	第4分野
研究開発課題名	：	腸-脳連関による高機能性を有する次世代型高齢者対応米加工食品の開発
プロジェクトリーダー 所属機関	：	亀田製菓株式会社
研究責任者	：	大日向 耕作（京都大学）

評価結果の総合所見

本課題は米タンパク質由来ペプチドを関与成分とする機能性表示食品を開発するものである。

概ね目標を達成し、次の研究開発フェーズに進むための成果が得られた。

米タンパク質の消化物に見出した抗うつ作用などを有するペプチドを、現代社会における健康社会に貢献する食品添加剤としての社会実装への可能性を明確にした。特に抗うつ様ペプチドの腸-脳連関による意欲増進としての作用メカニズムの解明やヒト介入試験などは計画通りに検討が行われ、目標を達成したことは高く評価できる。さらにペプチド素材の実機での安定的な製造方法を確立し、ペプチドの販売価格も目標通りとなり、企業化に向けた可能性は高い。

以上